



小郡市立小郡中学校 令和7年9月1日

小郡中学校だより 第244号

校長 山本 拓



学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成～

### 全国学力・学習状況調査について① 【全国学力調査】

4月17日(木)に全国の中学3年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査(国語・数学)」の結果についてお知らせします。後日、個人票は配布されますので、それぞれの教科の領域等に関する全体的な傾向をお知らせします。

#### 【全国学力調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 【全国学力調査の内容(中学校)】

① 教科に関する調査(中学校第3学年を対象とし、調査教科は国語、数学、理科は CBT 調査…タブレット)

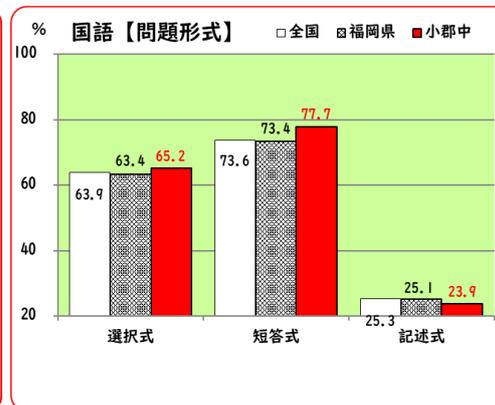
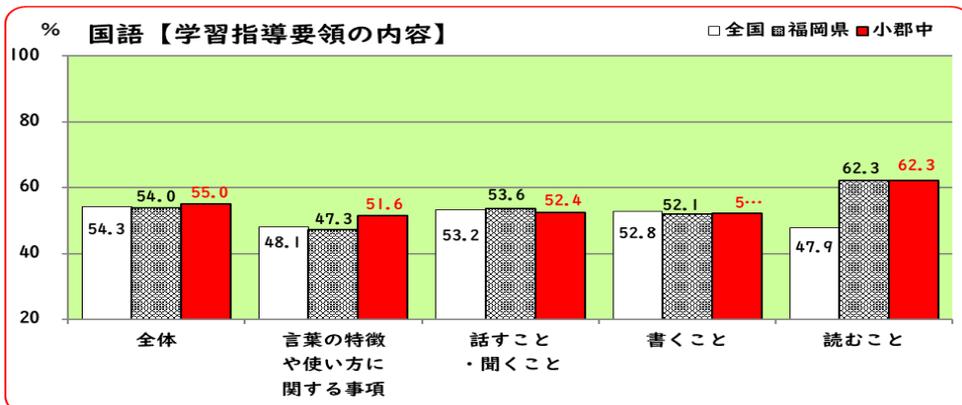
出題内容は次の(ア)と(イ)を一体的に問うもの。

(ア)身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

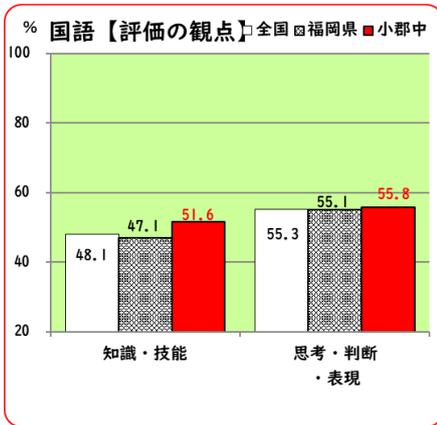
(イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等

②質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

### 学力調査の結果<国語>



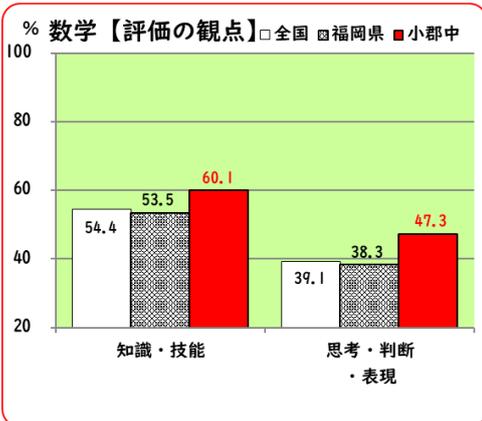
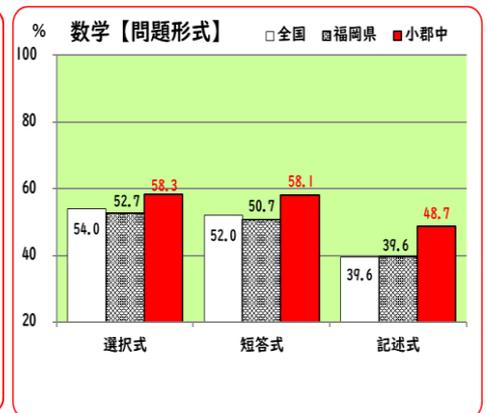
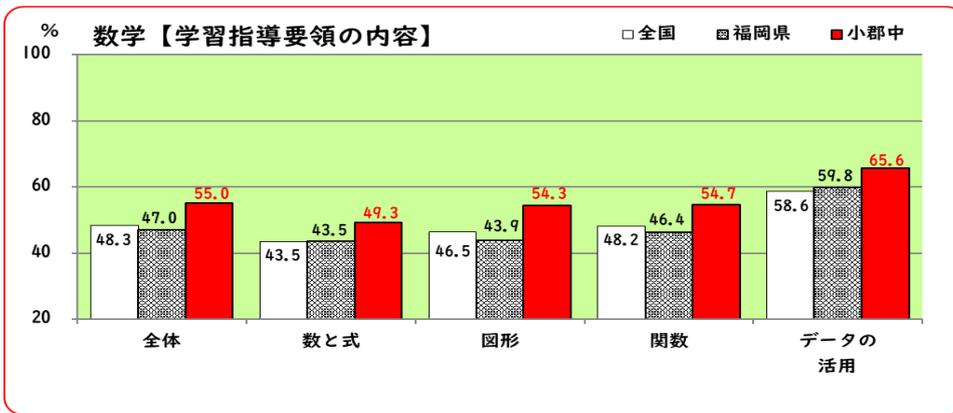
国語は、全国平均を0.7ポイント、県平均を1ポイント上回る結果となりました。課題(正答率が低かった問題)は、「話すこと・聞くこと」に関する問題で、問題文の中で発表のまとめの内容をよ



り分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、相手にどのような助言をするか、自分の考えを書くもの。また、「書くこと」に関する問題で、問題中のちらしの読み手に向けて、今年美術展の工夫について伝える文章を書くものでした。「話すこと・聞くこと」については、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる力が必要で、「書くこと」については、資料等を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように文章での表現を工夫する力が必要です。

授業や家庭学習の中で、感じたことや考えたことを「自分の言葉で書く」機会を大切にしていく必要があります。授業のノート、振り返りの記述、感想文、主張文、生活ノートなど、自分で考えた言葉でたくさん表現していくことにより力を伸ばしていきましょう。

## 学力調査の結果<数学>



数学については、全国平均を6.7ポイント、県平均を8ポイントとかなり高く正答率を上回る結果となりました。2年生での授業を中心に地道に取り組んできた成果であると思っています。課題(正答率が低かった問題)は、数と式の「 $3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する」思考・判断・表現の力をみる問題です。この問題を解くには、式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる力が必要です。

る力が必要です。

数学での説明する力をつけていくためには、計算だけでなく、「なぜそうなるのか」「どう考えたのか」を言葉や式で表す練習を積み重ねることが大切です。授業や家庭学習では、答えを書くだけでなく、「考えの道筋」を意識して説明や式を書いていくことや本時の振り返りの記述で内容を具体的に書いていくことで数学の力は確実に伸びていくと言われています。

※全国・学力学習状況調査は、理科もCBT(タブレットでの解答形式)で行われました。そのために理科については、結果の形式が大きく異なるために今回は、載せておりませんのでご了承ください。